

会 議 録

- 1 会議の名称 川根本町総合計画検証委員会（第2回）
- 2 会議日時 令和8年3月23日（月） 午後1時30分 から
午後2時37分 まで
- 3 開催場所 川根本町役場本庁舎 3階会議室
- 4 出席した者の氏名
 - （1）委 員 小泉祐一郎委員長、西澤孝仁委員、下嶋恵委員、中道輝久委員、
福田郁之委員、駒井宗子委員、藤中康彦委員、高田文好委員
 - （2）執行機関 （事務局）経営戦略課
課長 坂下誠、まちづくり推進室 室長 櫻井久美
主幹 林 三貴
 - （3）傍 聴 人 なし
- 5 議題
 - （1）令和8年度の事業計画について
 - （2）その他
- 6 会議資料の名称
 - ① 令和7年度第2回川根本町総合計画検証委員会次第
 - ② 川根本町総合計画検証委員会委員名簿
 - ③ 令和8年度当初予算編成の概要
- 7 発言の内容

	(1. 開会)
	(2. あいさつ) 坂下経営戦略課長
	(3. 委員長あいさつ) 小泉委員長
	(4. 議事)

	<p>(1) 令和8年度の事業計画について 事務局説明</p>
委員長	<p>来年度事業について事務局から説明があった。質問や事業に対する改善案等委員の皆さんから出してもらいたい。</p>
委員	<p>ライドシェアの説明があったが、行先は寸又峡と接岨峡限定か。</p>
事務局	<p>今回については、実証実験になる。そのため、千頭、寸又峡、接岨峡のみ。ただし、寸又峡、接岨峡間も可能と聞いている。 担当課としては、運転手が確保できるか心配している。</p>
委員	<p>なるほど。年齢等の制限があるということか。</p>
事務局	<p>それもあと思う。運転してくれる人がいるか。ライドシェアは、試験期間でも、利用が毎日あるかどうかわからない。そのような状況でやってくれる人が何人いるか。1人しかいないとその人の都合が悪いと利用できない。ただ、とりあえずやってみないと、どの程度の需要があるかもわからない。 今は、大井川鐵道が不通なので鉄道で来る人はまずいないが、今のうちから実施していく。</p>
委員	<p>この間ワークショップに参加したが、申し込みやすい仕組みや当日の急な利用、町民に分かりやすいような仕組みやアプリなんかがあると非常にいいと思った。 後は、17ページの広報アドバイザー事業について、外部から人材を呼ぶということだが、その人が終わったら終わりじゃなく、町民を育成するようなシステムとかもあれば。町民がどうしたら町の魅力を発信できるかといった助言や、セミナーなんかもやってもらえると非常に効果的だと思う。</p>
事務局	<p>町の魅力をどう発信したらいいかっていう勉強会等も重要だと思っている。ただ、町の広報誌自体も、もっと認めてもらえるような情報の発信の仕方もあると思う。そういうところをみんなで勉強していければいい。</p>
委員	<p>最後になるが、9ページの旧中川根第一小学校利活用事業について、とりあえず今年は改修工事をやると。記載されているカーボンクレジット付きの観光パッケージ等の開発と実証も実施するのか。</p>
事務局	<p>県の補助金をもらうには、脱炭素とデジタル化が条件となっている。なの</p>

で、検討していく予定。ただ、事業費も限られているのでどこまでできるかというのはある。事業費をみてもらえればわかるが、2,500万であの学校全部の改修はできない。なので、基本的に管理棟の方からスモールスタートで進めていきたい。いずれは商工会等も入ってもらって、脱炭素やDX化で進めていければと思っている。

委員

観光客の中には、路線バスよりも早く移動したいといった要望もかなりある。その時にこのライドシェアが使えるのかどうかも気になる。

事務局

当町の高齢化率は50%を超えている。70歳以上も30%超えてる、75歳以上も30%超えてる中で、いずれもっと高齢化がすすみ、自分で運転できなくなる可能性がある。当然町民も使えたらいい。今回は実証なので、とりあえず寸又と接岨、寸又接岨間で実証するが、利用者の枠を広げていって、みんなが使えるようにと考えていると思う。

委員

4月6日からのダイヤ改正もあって、接岨峡へのバスも減る。町の高齢化もあるが、観光主体としていくという方向を出しているのなら、そのあたりも考えないといけない。

事務局

大井川鉄道もボランティアではないので、自分たちが経営していくには乗ってくれないと無理。かといって、町がどれだけ出せるかっていう部分もある。そういう部分でライドシェアが始まってきたと思う。県知事も力を入れているということで、ライドシェアの先進県としていくと言ってるので。

自動運転もあるが、当町は道が狭いので難しい部分がある。それだったらライドシェアの方が実現可能性は高いかなという感じもする。

委員

今回初めて出席して、この主要事業一覧を見て色々事業があるんだなとは思った。ただ、正直に言うともっと詳しく知らないし、何も言えないなっていうのが率直な感想で。先ほど話が出た旧第一小の利活用も、この資料だけだとまだ分からない、どういう風にやっていくのかなっていうのは正直分からない。なかなか何とも言えなくて申し訳ない。

事務局

確かにそれが率直な感想だと思う。いきなりこれを見て、どう思うって言われても難しいと思う。事務局としてもどこまで資料を添付するか迷った。例えばこれを全部皆さんに見せて、1枚ずつ説明しても当然足りない話なので。大体、こういった事業をやっていくということで、目次というか、事業一覧をつけさせてもらった。

委員から話のあった旧第一小について、少しずつではあるが、動き出した。今まで全く進んでなかった部分があったので、少し遅くなってしまったが、今年度基本構想を作って、どういう方向性でどういう形でやっていこう

かつというのがうっすらと見え始めてきている。今年度の最後に実際に活動したい人を呼んで会議を開催する。

今後も当然情報公開はしていく。ここでやりたいって言った人を拒むようなやり方はしたくないし、使いたい人みんなに使ってもらいたいというやり方で行きたいと思っている。

委員

事業一覧をみて、個人的にわかるものはわかる。行政がこうやって年間のスケジュールを決めて、事業をどのように進めていくのか、初めて行政の内容がわかったので個人的には、話を聞けてよかった。

委員

皆さんも言ってたあのライドシェアの件が気になる。川根地区は、来年、再来年度目指して動き始めてる。このペースで行くと、遅いような気がしないでもない。もうちょっと町民の足になるような形で運行するものを、ペースを早めた方がいいのではないかなと思った。

ライドシェアは、バスみたいに止まる場所を決めるパターンと、個人の家まで行くパターンとあると思うがどっちを目指すのか。

事務局

先ほど、委員が言ったが、バスも来年度減る。千頭から寸又へ行くバスは全部町のお金である。大井川鐵道では運営できないということで。そうした中で、大井川鐵道さんをお願いしてるけども、運転手の労働時間の問題もあって、運転手のやりくりができない。だからどうしても本数を減らさなきゃならない。だから、町がお金を出さないからっていうよりも、運転手のやりくりができないから減らす。

ライドシェアについては、いろんなものを模索していて、自動運転を先に検討したこともあった。いろいろやっていく中で、今年度やっと、このライドシェアの仕組みができた。委員がいったように、個々の回るところを、例えば予約でAI拾って回れるような仕組みもあると思うが、当町ではそこまで利用者がいるかなっていうのも実際問題ある。ただ、やってみないと分からないということで、とりあえず今回千頭から寸又接岨ということでどれだけの需要があるかという部分を見ながら実践に向けてやっていきたい。

委員

保育料の補助、副食費の補助等説明いただいた。私たちが子育てしているときには、本当に自分たちだけで保育料払わなきゃいけない。給食費も含め高い保育料を払っていた。今は町がこれだけやってくれて、今の親御さんはすごい恵まれてるなと思う。でも、これを果たしてどれだけの、ご家庭、保育園を利用している親御さんが分かっているか、っていうのは現実的に難しいところだなと感じる。

このような会議の場に参加されていればわかると思うが、一般のご家庭にこれだけ町が支援しているということがなかなか伝わりにくい。

文章にしてもそこまでなかなか読み取れない。こういう会や会合に出てい

れば説明してくれるので、わかるが、広報や配布された文章、冊子でこういう計画やりますよっていわれても全然わからない。なので、もっと分かりやすくこういうものを発信していけたら。これだけやっているのになんとなく、もったいないなと感じる。機会があったら、分かりやすく町民に発信していただけたらいいなと思う。

事務局

本当にごもつともだと思う。新しく作ろうとしている総合計画の概要版は、なるべく町民が分かりやすいものを作る。こんな厚い冊子を誰が読むのという意見が担当の間でも出ている。せっかくお金をかけて作っても、文字ばかりだと誰でも嫌。なので、そういう部分を本当にもっと分かりやすく作っていきたい。

給食費だが、委員が言われたように、本当に高かったと思う。その時と比べると今は恵まれているが、中には、なんで無償にしないのかという意見もある。とはいえ、町の一つの考えとして、自分が食べるものだから、それを全部無償にするのはどうかと。そればかりではなく、他の部分でも支援をしている。インフルエンザとか無料化とかをやってる中で、バランスがあったりして。やれることはやっていくっていうような方針だが、それを町民にどういう形でもっと知ってもらおうかというのは検討する。

委員

小学校はまだ無償じゃないか？

事務局

学校給食費については、有償自治体の中で県内最安となるよう独自の軽減策を講じてきた。引き続きこの軽減策を継続し、前期課程にあっては、新設の国庫補助制度と併せて無償化し、後期課程7、8、9年生にあっても現在の給食費を維持できるよう支援する。

委員

今すでに安くなっていて、物価高騰で上昇する分は、上げずに町でその分負担する。小学校は無償。後期課程は今の金額（1人4,000円程度）を維持。

委員長

国の支援もあるから、それと併せて前期課程は無償にする。市町村の特に川根本町とかは先行してやっていて国の方が後から追いかけている。こちらの方が進んでいる。

委員

農業・土木の観点からみると、土地づくりとか、販売体制とか、バランスよく入れてもらえればいいかなと。これに、県とか国の補助も合わせながら、隙のないような感じで入れてってもらえたら。今回クマに対する補助を入れてもらったっていうことで、すぐにやらなければいけないことに対応してもらえてよかったと思う。

最近、有害鳥獣の既存施設での対応が難しくなっているの、更新についても継続して実施してもらいたい。

4年前の台風以降山がとてもしんどくなっている。山の中の整備が完了しな

いと道路の整備は難しいと感じている。道路が壊れる原因の一つに木がある。あの、道路の下の立木が台風とかでずれて、それが倒れて、それで道路が崩れる。瀬沢の崩れているのも同様。そういうところが結構ある。昔は山を見ての人が多かったから良かった。最近はそういう人も減っているので道路の状況と併せてみてもらえればいいと思う。

道路については、迂回路になる可能性があるようなところはそれなりの強度と企画で作った方がいい。

事務局

道路企画に関しては国とか県の補助金をもらって実施するので、規格以外のことをやると町の負担になる。

委員

17ページの地域活性化起業人制度について教えて欲しい

事務局

その道のプロである民間の企業の方を、国のお金で呼んで、即戦力として使える制度。

委員

既に利用しているのか。

事務局

観光部門で1人既に任用している。町の負担がないことから、今回広報部門のアドバイザーとして活用する。

委員

県のどぼくらぶ事業の動画でアイドルグループを起用したら再生数が数倍に増えた。

委員

どのような内容なのか。

委員

県の土木事業について、解説する動画。先日配信した動画が国道362号線のトンネル事業だった。世間的に知名度のある人材を起用するのも広報手段として効果的だと思う。

委員長

町のタクシー事業者の営業所はどこにあるのか。

事務局

千頭にある。他にはない。

委員長

営業時間は。

委員

5時か6時くらい。その時間には、お客さん断っている。

委員長

公共交通を進めたらタクシー会社が倒産した事例がある。タクシー会社がなくなった町というのがまた大変。

1つの市町村で公共交通の仕組みが複数ある。ここのところはライドシェアでやってるけど。こっちは自主運行バスとか。同じ市町村の中でも場所によってバラバラ。そうしないと成り立たないみたいな実態がある。だから1つの手段で町内の多くのところが賄えるではなくて、ここはこの方法がいいけどこっちは別の方法という、地域ごと使い分ける必要があるかなと。

この近辺だと静岡市の大川でNPOが実施している。大川だと収入源が2系統ある。1つは市からの運営に対する補助金。もう1つが、教育委員会が実施する、学校へ通う子の定期への補助。定期は年間確実に売り上げが入る。

今回も場所を絞ってとりあえず、やりやすいところでやりやすい方法でやってみることが大事。

ただ、その方法が他のところでそのままいけるかっていうと、場合によってはライドシェアにこだわらないでやり方を考える必要がある。

とにかく、スモールスタートで。実証でもまずやること。

以上をもって、議事は終了とする。

(5. 閉会)

上記に相違ないことを確認する。

委員長 小泉 祐一郎